

奈良県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画

令和7年(2025年)度モニタリング報告書(案)

奈良県食農部農業水産振興課
奈良県森林技術センター森林資源課

令和8年(2026年) 3月

目 次

ニホンザルモニタリング調査の概要	1
1. 捕獲調査	2
2. 被害状況調査	3
3. 農業・林業集落アンケート調査(獣害アンケート調査)	6
4. 令和6年(2024年)度ニホンザルモニタリング調査結果報告まとめ	13
5. 奈良県ニホンザル生息状況調査	14
(参考資料)	
農業集落アンケート用紙(記入例)	15
林業集落アンケート用紙(記入例)	16

ニホンザルモニタリング調査の概要

奈良県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画(第1次)に基づき、同計画に掲載している下記の各種モニタリングを実施した。

1. 捕獲数調査

調査方法:有害捕獲 市町村からの報告を集計

2. 被害状況調査

①農業被害

調査方法:市町村からの報告(金額、面積)を集計

②農業被害対策の効果

農業・林業集落アンケート調査において防護柵の設置効果等を調査

3. 令和6年農業・林業集落アンケート調査(獣害アンケート調査)

調査方法:県内の農業または林業を営んでいる集落の代表者にアンケートを実施

対象集落:1,446 集落

調査様式:1)農業用アンケート用紙【P.15】

2)林業用アンケート用紙【P.16】

1. 捕獲数調査

○有害捕獲数

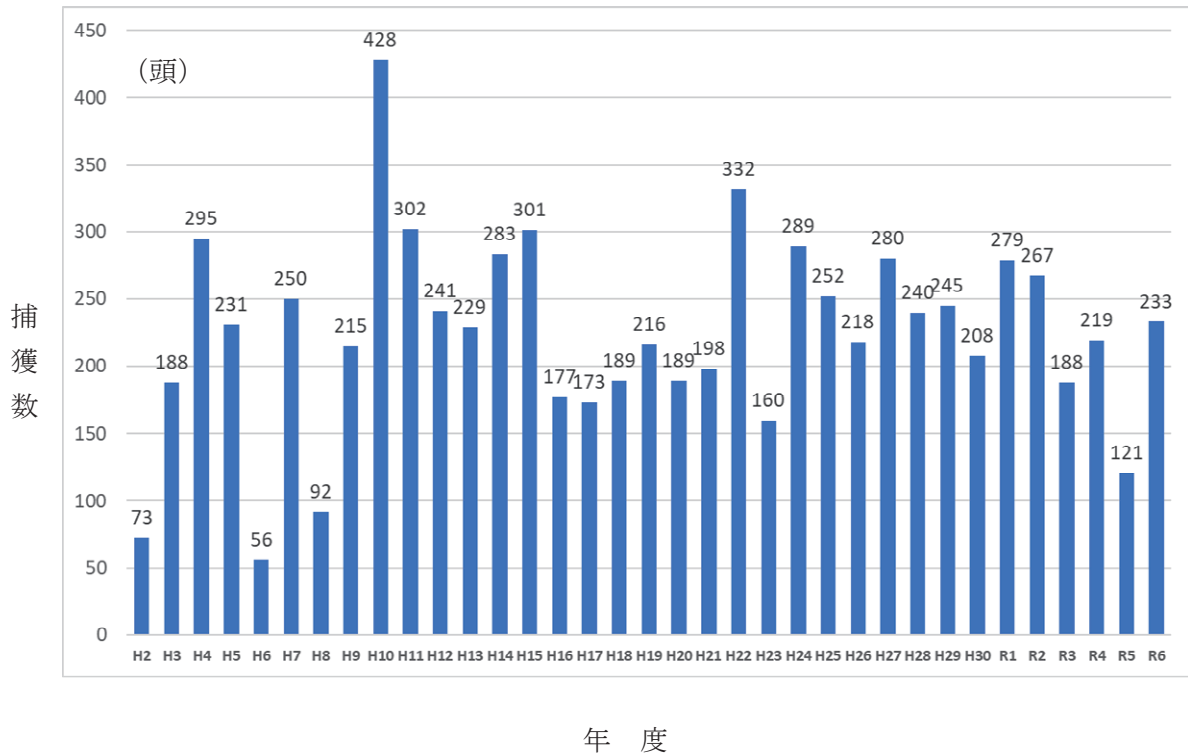


図1 ニホンザルの有害捕獲数の推移

ニホンザルの有害捕獲数の推移を図1に示した。サルは非狩猟鳥獣であるため、捕獲は全て有害鳥獣捕獲による許可に基づいて実施されている。年度毎の捕獲数は、平成10年度まで大きく差があるが、平成11年度以降概ね200～300頭の範囲で推移している。令和に入ってから令和元年をピークに減少傾向で令和5年度が121頭とかなり少なかったが、令和6年度が233頭と平年並に増加した。

2. 被害状況調査

○農業被害

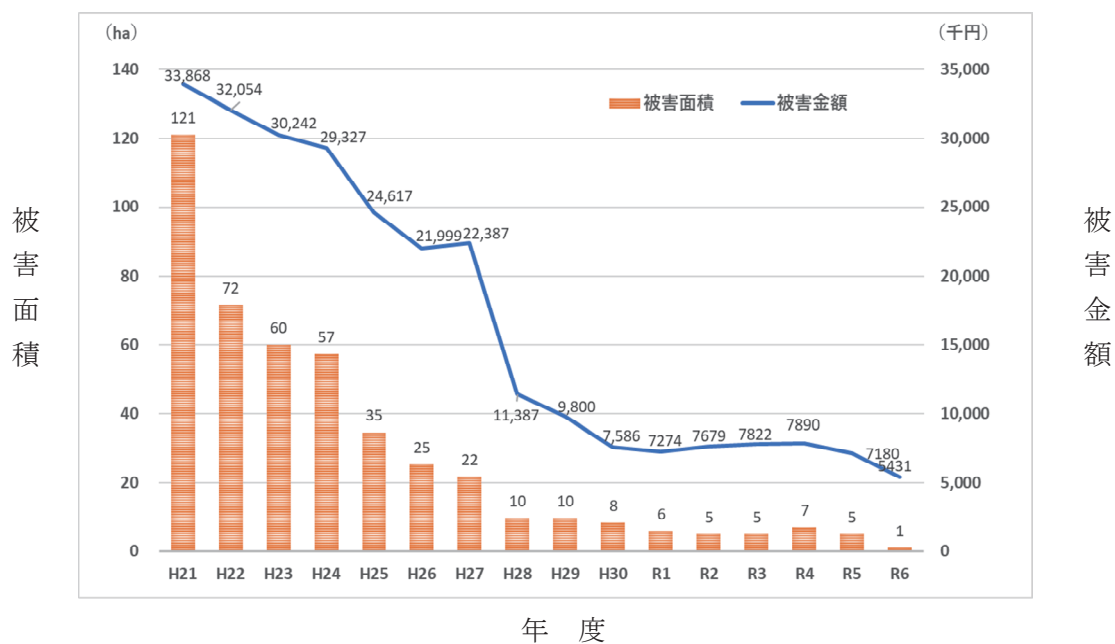


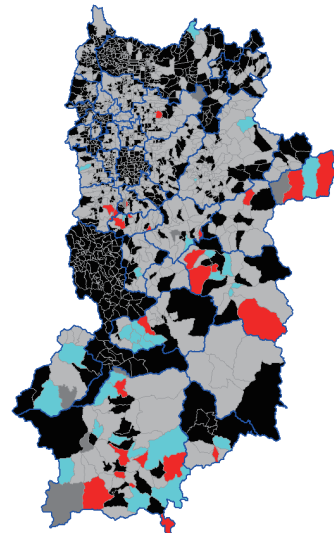
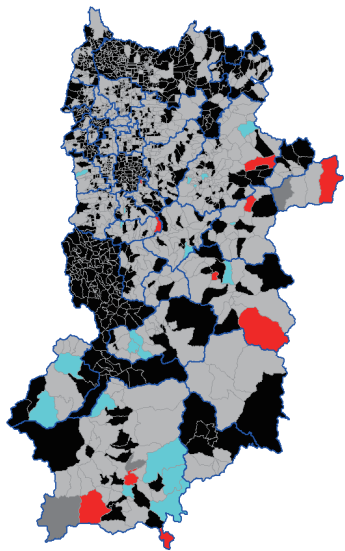
図2 ニホンザルの農業被害面積及び農業被害金額の推移

ニホンザルの農業被害面積及び農業被害金額の推移を図2に示した。農業被害面積及び農業被害金額ともに減少傾向で、近年は横ばいの状況となっている。平成30年度～令和5年度の農業被害金額は700万円台であったが、令和6年度は543万円まで減少した。平成28年度～令和5年度の農業被害面積は5～10haであったが、令和6年度は1haまで減少した。

○サルの農業被害対策の効果

やぶ刈り払い

追い払い



■ 回答無し
■ 回収無し

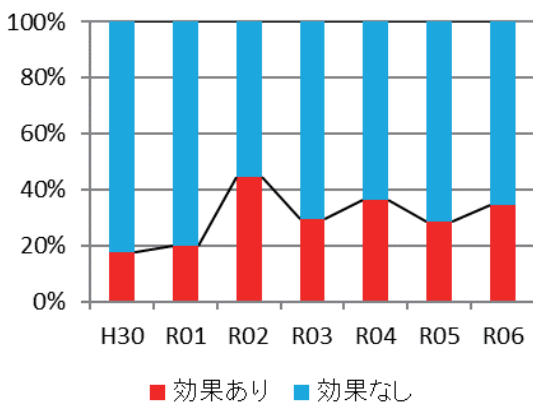
	回答数	回答率
■ 効果あり	10	34.5 %
■ 効果なし	19	65.5 %
合計	29	100 %

	回答数	回答率
■ 効果あり	26	46.4 %
■ 効果なし	30	53.6 %
合計	56	100 %

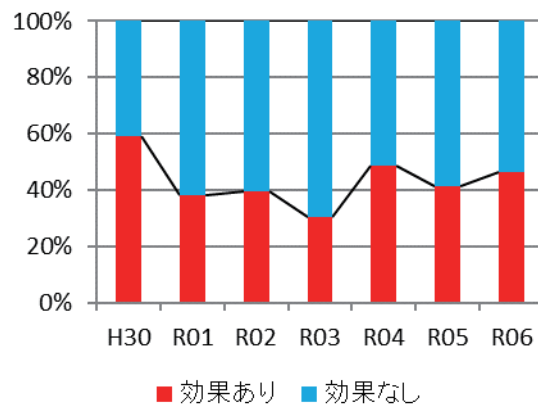
図3 令和6年(2024年)度のサルの農業被害対策の効果(左:やぶ刈り払い/右:追い払い)

令和6年(2024年)度のサルの農業被害対策の効果を図3に示した。

やぶ刈り払いについて効果ありと回答した者の割合は約 34.5%、追い払いについて効果ありと回答した者は約 46.4%であり共に 50%を下回った。



やぶ刈り払い



追い払い

図4 農業被害対策の効果の各回答の占有率の経年変化(左:やぶ刈り払い/右:追い払い)

農業被害対策の効果の各回答の占有率の経年変化を図4に示した。やぶ刈り払い対策について効果ありと回答した者の割合は令和2年度に大きく伸び、その後、30%~40%を占めている。追い払い対策について効果ありと回答した者の割合は平成30年から令和3年にかけて減少した後、令和4年以降は40%以上を占めている。

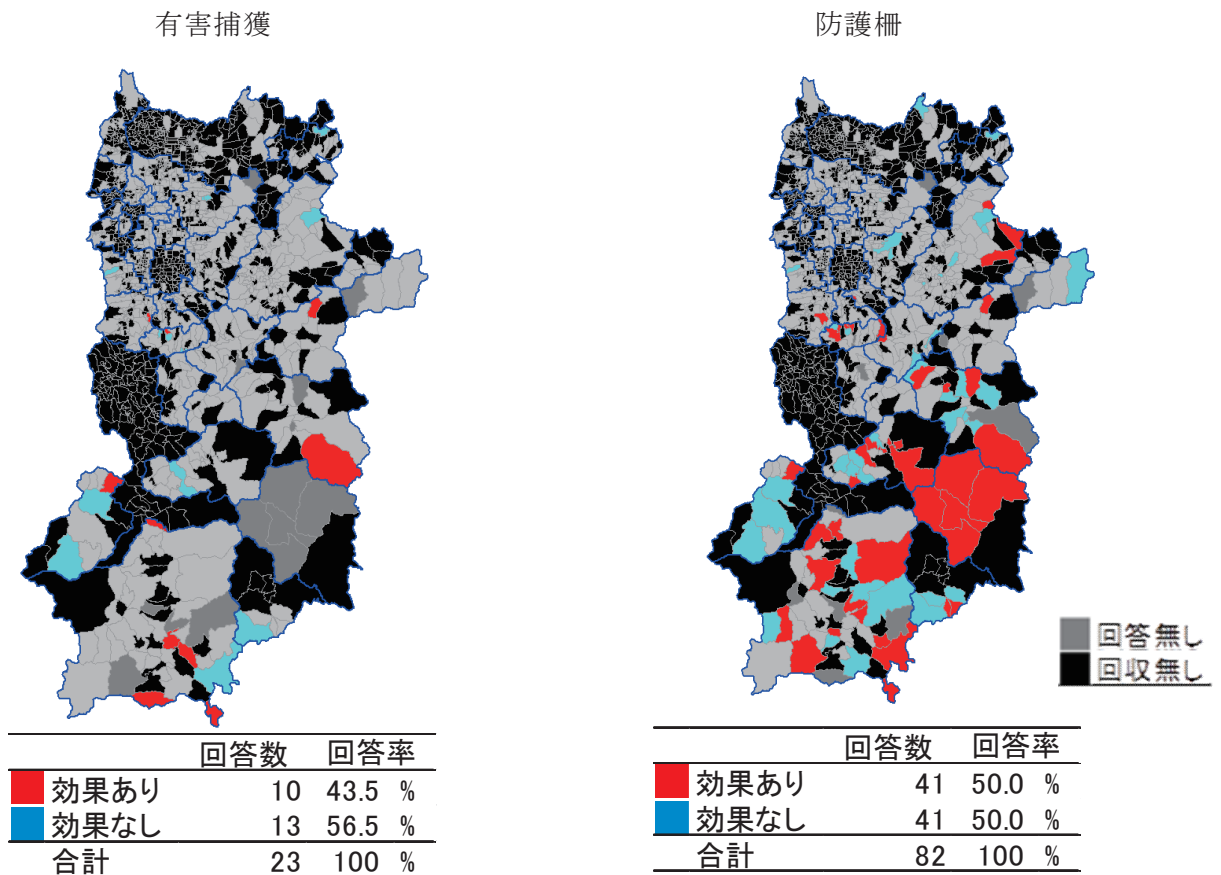


図5 令和6年(2024年)度のサルの農業被害対策の効果(左:有害捕獲/右:防護柵(侵入防止柵))

令和6年(2024年)度のサルの農業被害対策の効果を図5に示した。

有害捕獲について効果ありと回答した者の割合は約44%、侵入防止柵について効果ありと回答した者の割合は50%であった。

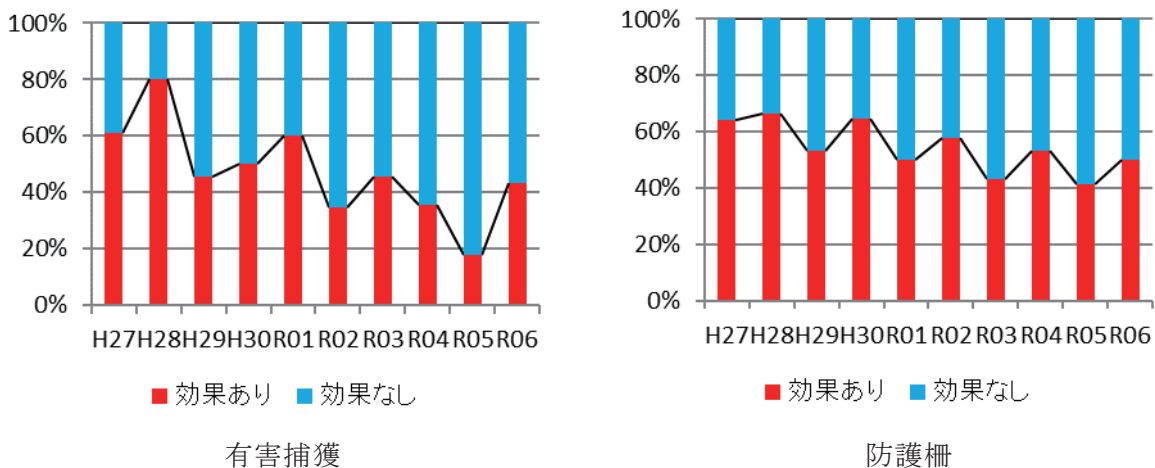


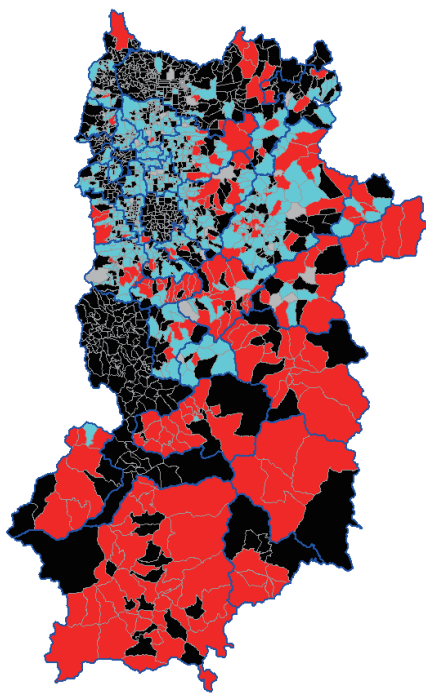
図6 農業被害対策の効果の各回答の占有率の経年変化(左:有害捕獲/右:防護柵(侵入防止柵))

農業被害対策の効果の各回答の占有率の経年変化を図6に示した。

年度により変動がある。侵入防止柵の効果に対する意識については一定程度効果が認められるが、有害捕獲の効果に対する意識は年度による変動が大きく、があると回答する割合は40%未満となる年もある一方、効果があると回答する者の割合が50%以上となる年もある。

3. 農業・林業集落アンケート調査(獣害アンケート調査)

サルの分布



回答数	
いる	220
いない	440
回答無し	49
回収無し	1099
合計	1808

離れザルの分布

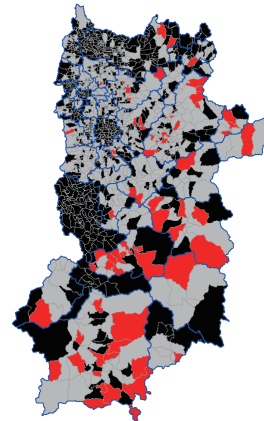


図7 令和6年(2024年)度のサルの分布

青線:市町村界 / 市町村界内側の線:大字・地区界 (※以降の図についても同様である。)

令和6年(2024年)度のサルの分布を図7に示した。農業集落と林業集落の両方またはいずれかでサルが「いる」と回答があった場合に「いる」としており、「回収無し」には人が住んでいない集落も含まれる。

県北部の奈良市の一部、県東部の宇陀地域から県南部の吉野郡にかけて群れが分布している既知の地域からサルが「いる」という回答があった他、県北西部の一部からもサルが「いる」という回答があった。また離れザルは県北東部、県南部から「いる」という回答があった。

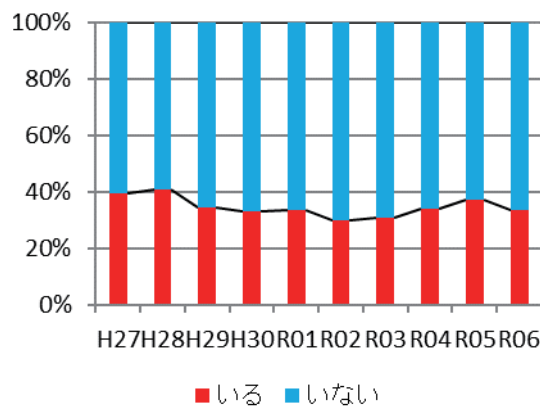


図8 サルの分布の経年変化

サルの分布の経年変化を図8に示した。サルが「いる」と回答した割合は令和2年まで減少傾向で、令和3年以降増加傾向にあったが令和6年度は幾分減少した。

(※以降の項目については、サルが「いる」と回答があり、かつ各設問の回答があった集落の内訳を示す。)

○サルの子の群れの分布

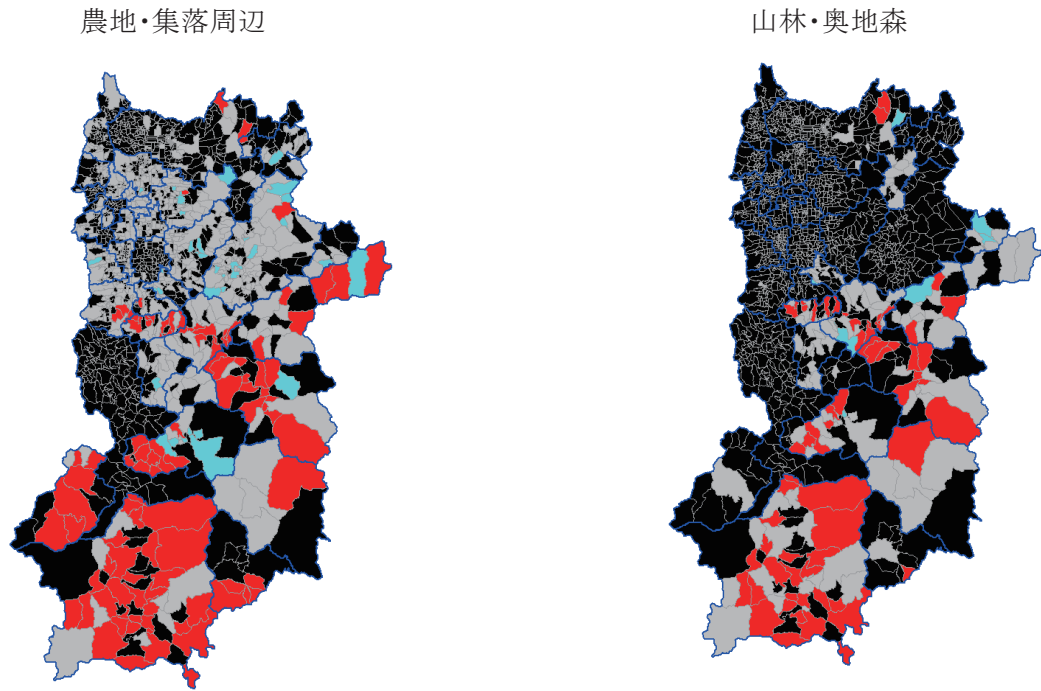


図9 令和6年(2024年)度のサルの子の群れの分布 (左:農地・集落周辺/右:山林・奥地森林)

	回答数
子供を含む群れ	104
離れザルのみ	36
合計	140

	回答数
子供を含む群れ	63
離れザルのみ	7
合計	70

令和6年(2024年)度のサルの子の群れの分布を図9に示した。

県北部の奈良市の一部、県東部の宇陀地域から県南部の吉野郡にかけて群れが分布している既知の地域からサルの子の群れが「いる」という回答があった。一方、県北西部等では、サルは「いる」がサルの子の群れは「いない」という回答であった。

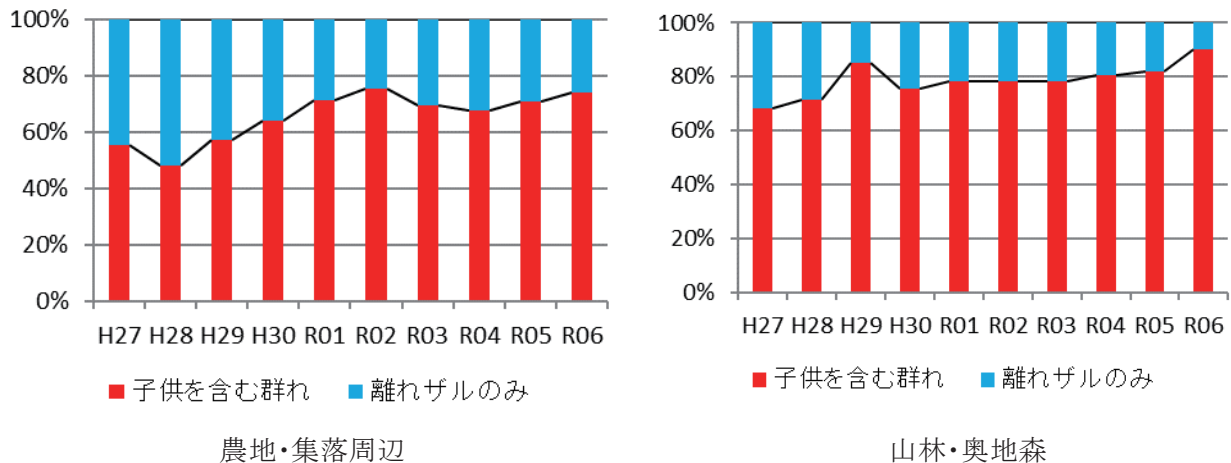
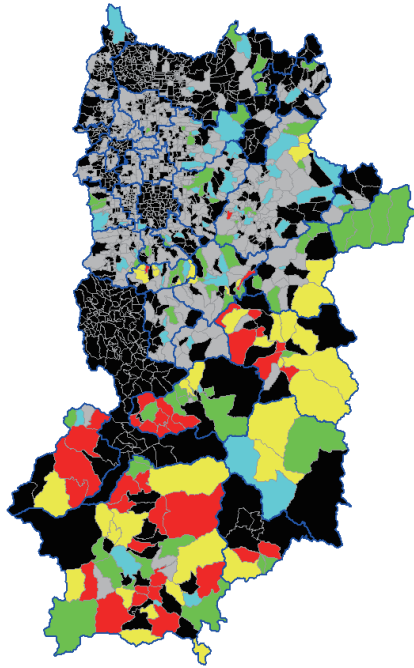


図10 サルの子の群れの分布の経年変化 (左:農地・集落周辺/右:山林・奥地森林)

サルの子の群れの分布の経年変化を図10に示した。

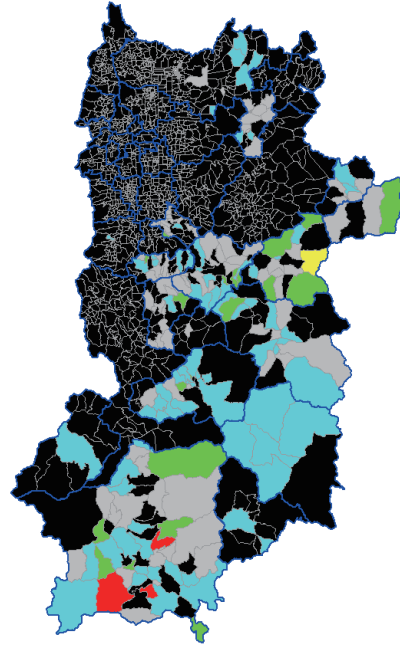
農地に子供を含むサルの子の群れが「いる」という回答の割合は令和2年より減少していたが令和5年からは増加しており、山林に子供を含むサルの子の群れが「いる」という回答も増加している。

○サルによる農林業被害の意識
農業



	回答数	回答率
深刻	36	18.5 %
大きい	39	20.0 %
軽微	68	34.9 %
ほとんど無い	52	26.7 %
合計	195	100 %

林業

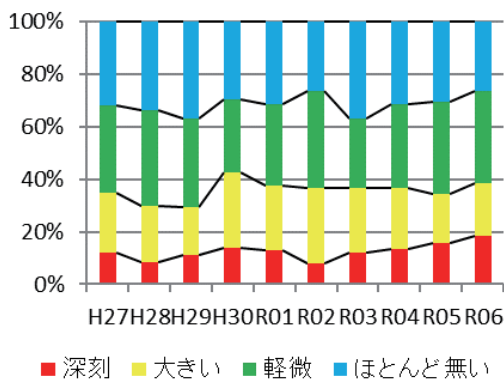


	回答数	回答率
深刻	3	3.2 %
大きい	1	1.1 %
軽微	21	22.1 %
ほとんど無い	70	73.7 %
合計	95	100 %

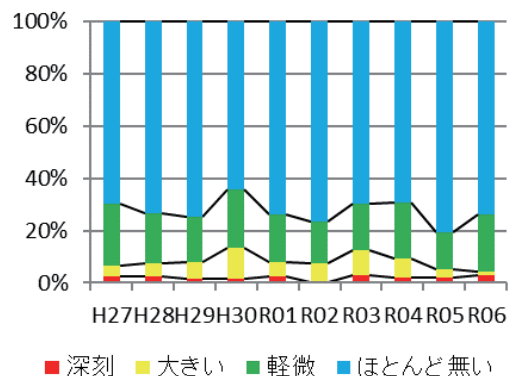
図 11 令和6年(2024年)度のサルによる農林業被害の意識 (左:農業/右:林業)

令和6年(2024年)度のサルによる農林業被害の意識を図 11 に示した。

被害が「大きい」または「深刻」と回答する者の割合は、農業が約 39%、林業が約 5%であった。農業被害が「軽微」の回答も含めた割合は約 73%となり、広い地域でサルによる農業被害が認識されていることがわかる。



農業



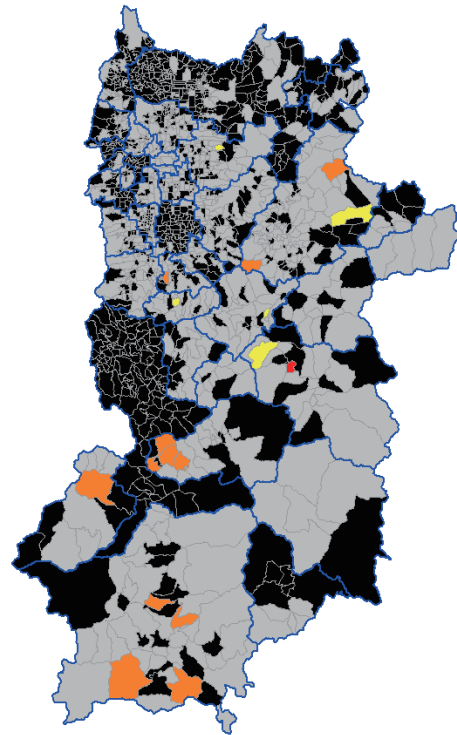
林業

図 12 被害程度の各回答の経年変化 (左:農業/右:林業)

被害程度の各回答の経年変化を図 12 に示した。

被害が「深刻」と回答する者の割合が、農業で増加傾向にある。

○サルによる農地・集落周辺での人的被害



	回答数
住居侵入や器物破損	5
人を威嚇・襲う	11
上記の両方	1
合計	17

図 13 令和6年(2024年)度のサルによる農地・集落周辺での人的被害

令和6年(2024年)度のサルによる農地・集落周辺での人的被害を図13に示した。

サルの群れが「いる」という回答があった地域で「住宅侵入や器物破損」、「人を威嚇・襲う」およびその両方の被害があったと回答があった。離れザルが「いる」という回答があった一部地域でも、「人を威嚇・襲う」との回答があった。

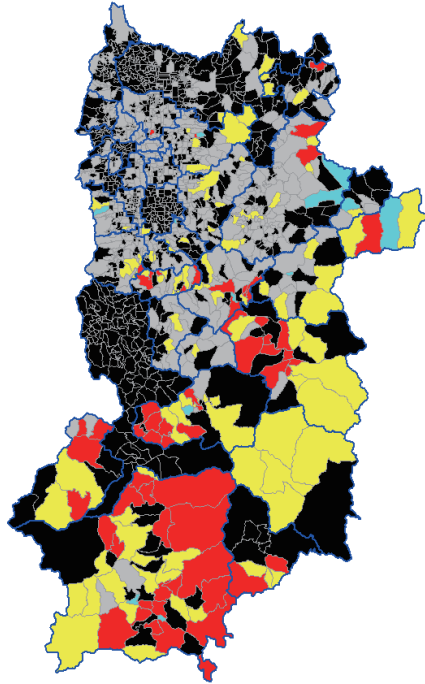
	(集落数)									
	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R01 (2019)	R02 (2020)	R03 (2021)	R04 (2022)	R05 (2023)	R06 (2024)
人を威嚇・襲う	5	5	8	9	10	8	5	4	13	11
住居侵入や器物破損	6	4	8	6	6	7	5	5	8	5
上記の両方	5	0	2	5	3	5	6	3	3	1
合計	16	9	18	20	19	20	16	12	24	17

表1 サルによる農地・集落周辺での人的被害の経年変化

サルによる農地・集落周辺での人的被害の経年変化を表1に示した。

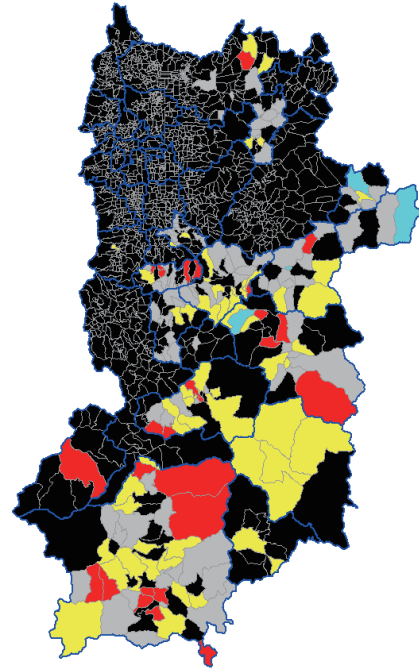
サルによる農地・集落周辺での人的被害についての回答数は令和5年が多かった。

○サルによる農林業被害の増減
農業



	回答数	回答率
■ 増えた	61	35.9 %
■ 変わらない	97	57.1 %
■ 減った	12	7.1 %
合計	170	100 %

林業

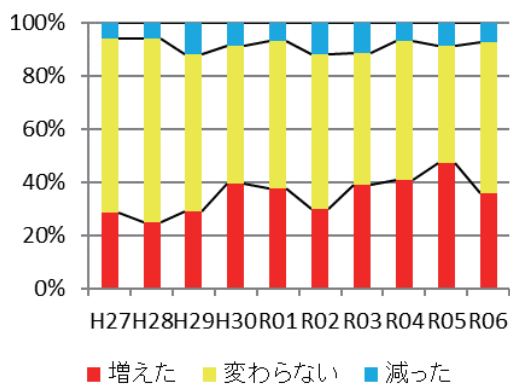


	回答数	回答率
■ 増えた	27	30.7 %
■ 変わらない	57	64.8 %
■ 減った	4	4.5 %
合計	88	100 %

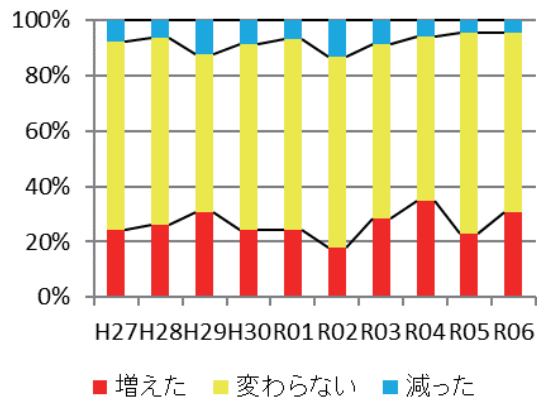
図 14 令和6年(2024年)度のサルによる農林業被害の増減 (左:農業/右:林業)

令和6年(2024年)度のサルによる農林業被害の増減を図 14 に示した。

農業被害が前年と比べて「増えた」と回答する者の割合が約 36%にのぼる一方、「減った」と回答する者の割合は約 7%であった。林業被害については、「増えた」と回答する者の割合が約 31%であるのに対し、「減った」と回答する者の割合は約 5%であった。



農業



林業

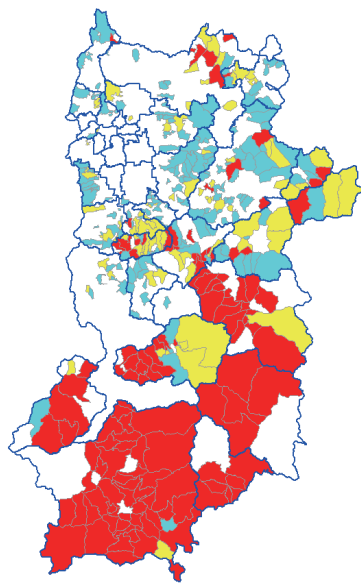
図 15 被害の増減の各回答の占有率の経年変化 (左:農業/右:林業)

被害の増減の各回答の占有率の経年変化を図 15 に示した。

農林業被害ともに「増えた」と回答する者の割合はおおよそ 20%から 40%の間で推移しているところ、「減った」と回答する者の割合は 0%から 20%の間で推移している。

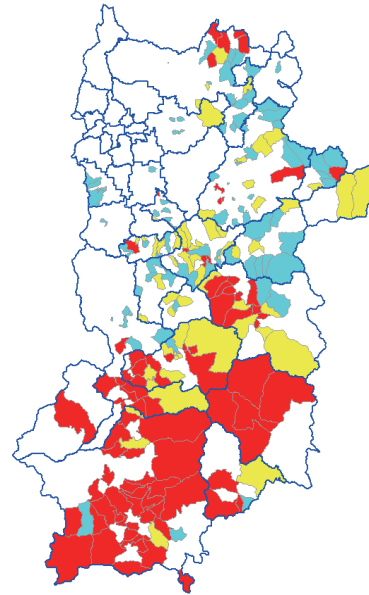
○サルの出没動向(令和2～令和6年度/2020～2024 年度の5年間)

農地・集落周辺



	回答数	回答率
よく見る	128	33.7 %
たまに見る	82	21.6 %
あまり見ない	170	44.7 %
合計	380	100 %

山林・奥地森林



	回答数	回答率
よく見る	83	37.1 %
たまに見る	60	26.8 %
あまり見ない	81	36.2 %
合計	224	100 %

図 16 令和6年(2024年)度までのサルの出没動向※(左:農地・集落周辺/右:山林・奥地森林)

※ 各回答を「よく見る」+1、「たまに見る」±0、「あまり見ない」-1 とポイント化して集落毎に合計し、プラスになる場合(「よく見る」が多い場合)は赤色、0 になる場合(「たまに見る」になる場合)は黄色、マイナスになる場合(「あまり見ない」が多い場合)は青色で各集落を色分けした。5年間で1度でも回答があった場合を集計している。空白は調査した5年間、サルがいない、無回答、集落に人が住んでいないのいずれかである。

令和6年(2024年)度までのサルの出没動向を図 16 に示した。農地・集落周辺への出没は、県南部吉野郡で多い地域が目立つ他、県北部、県東部の一部で多い地域が見られる。

山林・奥地森林での出没は、農地・集落周辺と同様に、県南部吉野郡で多い地域が目立つ他、県北部、県東部の一部で多い地域が見られる。

○サルによる農林業被害意識の動向(令和2～令和6年度/2019～2024年度の5年間)

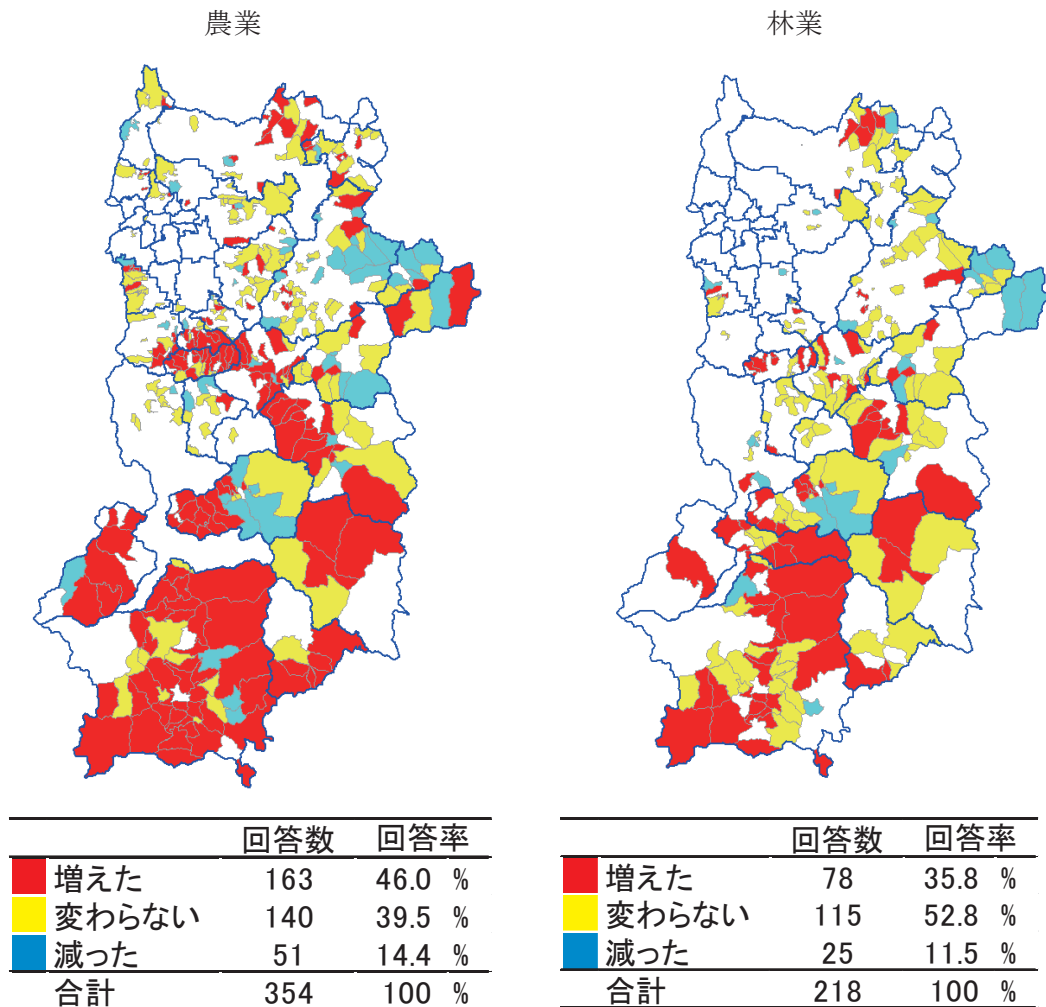


図 17 令和6年(2024年)度までのサルによる農林業被害意識の動向※(左:農業/右:林業)

※ 各回答を「増えた」+1、「変わらない」±0、「減った」-1 とポイント化して集落毎に合計し、プラスになる場合(「増えた」場合)は赤色、0 になる場合(「変わらない」場合)は黄色、マイナスになる場合(「減った」場合)は青色で各集落を色分けした。5年間で1度でも回答があった場合を集計している。空白は調査した5年間、サルがいない、回答がない、集落に人が住んでいないのいずれかである。

令和6年(2024年)度までのサルによる農林業被害意識の動向を図17に示した。サルによる農業被害の意識は、県南部吉野郡で被害が増えているという回答が目立ち、県南部地域以外からも被害が増えているという回答が得られた。一方被害が減っているという回答は、県東部宇陀地域の三重県境に接する地域その他、吉野郡の北部地域等からも得られた。

サルによる林業被害の意識は、農業被害同様、県南部吉野郡で被害が増えているという回答が目立つが、農業被害と比較すると変わらないという回答がやや多い。一方被害が減っているという回答は、農業被害同様、県東部宇陀地域の三重県境に接する地域その他、吉野郡の北部地域等からも得られた。

4. 令和7年(2025年)度奈良県ニホンザルモニタリング調査結果報告まとめ

1. 生息動向

- ・農業・林業集落アンケート調査において、これまでと同様に、県北部の奈良市の一部、県東部の宇陀地域から県南部の吉野郡にかけて群れが分布していると思われる。また、県東部と県南部で離れザルが目撃されている。
- ・農地・集落周辺への出没は、県南部吉野郡で多い地域が目立つ他、県北部、県東部の一部で多い地域が見られる。
- ・山林・奥地森林での出没は、農地・集落周辺と同様に、県南部吉野郡で多い地域が目立つ他、県北部、県東部の一部で多い地域が見られる。

2. 捕獲

- ・平成11年度以降概ね 150～300 頭で推移している。

3. 被害状況

- ・市町村からの報告による農業被害について、面積及び金額ともに減少傾向であったが、近年は横ばいの状況となっている。金額は平成30年～令和5年では700万円台で、令和6年度では500万台まで減少した。面積は平成28年～令和5年では5～10haで、令和6年度では1haまで減少した。
- ・農業・林業集落アンケート調査では、農業被害の意識は、県北部の奈良市の一部、県東部の宇陀地域から県南部の吉野郡にかけて認識されており、依然として農業被害が生じている。
- ・農地・集落周辺での「住宅侵入や器物破損」、「人を威嚇・襲う」の人的被害が生じている。
- ・農業被害意識の動向は、県南部吉野郡で被害が増えているという回答が多い。

4. まとめ

- ・これまでと同様に、県北部奈良市の一部、県東部の宇陀地域から県南部の吉野郡にかけて群れが分布しており、農業被害について、面積及び金額ともに近年は横ばいの状況となっているが、依然として被害が生じている。
- ・県東部、県南部では、離れザルが目撃されており、今後の生息動向に注意が必要である。
- ・被害防止対策として「生息環境の管理」「防護柵の設置」「個体数調整」「人材育成」に加えて、「誘因物の除去」「追い払い」について実施していく。
- ・農業被害が生じている地域においては、効果的な防護柵の設置を推進するとともに、既存の柵についても上部に電気柵を追加するなどの対策を行う。また、集落ぐるみによる被害防除対策についても推進していく。

5. 奈良県ニホンザル生息状況調査

1. 現計画

奈良県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画第1次計画

始期:令和3年4月1日

終期:令和8年3月31日

2. 調査計画

- ・目的 奈良県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画第2次計画(令和8年4月1日～令和13年3月31日)を策定するため
- ・調査期間 令和5年度から令和7年度の3年間
- ・調査対象地域 奈良県ニホンザルモニタリング調査結果で「群れが分布していると思われる」と判断された地域にある市町村
- ・調査スケジュール 地形や幹線道路の整備状況を踏まえ、調査が効率的に実施できるよう対象市町村を3グループに分ける。1年度で1グループの調査を実施し、3年間ですべての対象市町村の調査を終える。
令和5年度・・・五條市、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村
令和6年度・・・曾爾村、御杖村、高取町、吉野町、大淀町、下北山村、
上北山村、川上村、東吉野村
令和7年度・・・奈良市、天理市、宇陀市、山添村
- ・調査方法 業務委託

3. 調査内容

(1) 市町村へのヒアリング調査

- ・生息状況、被害状況、防除対策・捕獲状況、交雑種の確認状況等についてヒアリング調査の実施

(2) 出没カレンダー調査

- ・サル出没が確認されている集落で、集落の調査協力員が1ヶ月間、一斉にニホンザルの出没を調査票へ記録する。
- ・調査項目は、出没日時、地名、確認方法、目視頭数、推定頭数、子ザルの有無、被害の有無、ニホンザルの行動、人への反応、季節的なサルの出没動向、尻尾の長いサルの有無等。

(3) ルートセンサス調査

- ・出没カレンダー調査を補完するルートセンサスを実施
- ・出没カレンダー調査と同一の対象地域、調査時期に実施
- ・受託業者の調査員が実施し、群れ等を直接観察する。必要に応じ地域へのヒアリングも実施する。

(4) 森林地域の生息状況調査

- ・森林組合等にアンケート調査を実施

(5) その他調査

- ・(1)～(4)の他に必要な調査がある場合に実施

(6) 取りまとめ

- ・令和8年2月27日

奈良県 □□ 市・町・村 ○○ 地区 記入者 氏名 奈良 県太郎 郵便番号 635-8501 住所 奈良市登大路町30

電話番号

記入年月日 郵便番号は必ず記入してください

(郵便番号や住所などの情報は地図の作製や、万一連絡が必要になった時のためにご記入いただいています。お名前を含め一切外部に出すことはありません。)

農業用

今後農業を続けていくのに鳥獣害問題は
□最も重要な課題
□他の課題の方が重要
他の重要な課題は

防護柵 設置 防除対象の動物(いくつでも) 主な設置者 設置している割合
ネット柵 電気柵 金網柵 トタン柵 猿落君の柵 その他の柵

集落にある雑木林について教えてください
最近5年間くらいで伐採された雑木林は?
上記の回答が「ある」の場合、伐採した木は
何に使用しましたか?(複数回答可)

令和6年度の実り
クリ (豊作・凶作・不明・栽培なし)
カキ (豊作・平年並み・不明・栽培なし)

対象動物 令和6年度の農業被害 販売額に対する農業被害額 主な被害作物(いくつでも) 被害の増減 令和6年度の動物の増減 令和6年度の出没 実施した被害対策とその効果(令和6年度) 防護柵についてはこれまでに設置したものを含みます その他お気づきの点や工夫など 自由に書き下さい

「いる」「いない」のどちらかに必ず印を付けてください

外国から来た動物(アライグマ・ヌートリア)については、おおよその時期でもよいので、集落・農地で見られるようになった時期を記入して下さい。

記入例
農業被害アンケートは裏面もあります
ご協力をお願いします

裏面のご記入もよろしくお願いします。

お住まいが全域平野部で集落付近で林業が行われていない場合は、ないを○で囲んでください → ない ないの場合は以下の記入は不要です

林業用

令和6年度の山の実り	
ブナ	(豊作・平年並み・凶作・不明・ブナはない)
コナラ・ミズナラ	(豊作・平年並み・不明・コナラ・ミズナラはない)
シイ・カシ	(豊作・平年並み・不明・シイ・カシはない)
クヌギ	(豊作・凶作・不明・クヌギはない)

防護柵	設置	防除対象の動物(いくつでも)
ネット柵	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	シカ・カモシカ・ウサギ・サル・他()
電気柵	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	シカ・カモシカ・ウサギ・サル・他()
金網柵	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	シカ・カモシカ・イノシシ・ウサギ・サル・他()
その他の柵()		シカ・カモシカ・イノシシ・ウサギ・サル・他()



設置率	集落にある雑木林について教えてください 最近5年間で伐採された雑木林は？
林地のおよそ %を囲っている	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
林地のおよそ %を囲っている	<input type="checkbox"/> 雑木林は無い <input type="checkbox"/> わからない
林地のおよそ %を囲っている	上記の回答が「ある」の場合、伐採した木は 何に使用しましたか？(複数回答可)
	<input type="checkbox"/> 薪 <input checked="" type="checkbox"/> きのこ用原木
	<input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> その他()

↓その他の被害樹種名は具体的に記入してください。

↓何頭かわかれれば記入してください。

対象動物	令和6年度の 林業被害	被害の増減	主な被害と時期					実施した被害対策とその効果(令和6年度) 防護柵はこれまでに設置したものを含まず	令和6年度の 出沒	令和6年度の 動物の増減	その他お気づきの点や工夫など ご自由にお書きください	
			被害樹種	被害の形態	月	被害樹種	被害の形態					月
シカ	林業被害は <input type="checkbox"/> ほとんどない	令和5年度より	スギ	<input type="checkbox"/> 幼木摂食 <input type="checkbox"/> 幼木剥皮 <input checked="" type="checkbox"/> 成木剥皮 <input type="checkbox"/> その他 ()	7	その他 (コウヤマキ)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼木摂食 <input type="checkbox"/> 幼木剥皮 <input type="checkbox"/> 成木剥皮 <input type="checkbox"/> その他 ()	9	<input type="checkbox"/> 何もなかった <input checked="" type="checkbox"/> 有害捕獲(頭ぐらい・分からない) (効果は) <input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input checked="" type="checkbox"/> 防護柵 (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他() (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明	山地・奥地の森林で <input checked="" type="checkbox"/> よく見る <input type="checkbox"/> たまに見る <input type="checkbox"/> あまり見ない	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない	
イノシシ	林業被害は <input type="checkbox"/> ほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい(生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻(生産量の30%以上)	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	スギ	<input checked="" type="checkbox"/> 幼木踏みつけ <input type="checkbox"/> 幼木掘起こし <input type="checkbox"/> 成木剥皮 <input type="checkbox"/> その他 ()					<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 有害捕獲(頭ぐらい・分からない) (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 防護柵 (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他() (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明	山地・奥地の森林で <input type="checkbox"/> よく見る <input checked="" type="checkbox"/> たまに見る <input type="checkbox"/> あまり見ない	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない	林道・のり面等で掘り返し跡を <input type="checkbox"/> よく見る <input type="checkbox"/> たまに見る <input checked="" type="checkbox"/> あまり見ない
サル	林業被害(スギ・ヒノキ等)は <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい(生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻(生産量の30%以上)	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	スギ	<input type="checkbox"/> 幼木摂食 <input checked="" type="checkbox"/> 幼木剥皮 <input type="checkbox"/> 成木剥皮 <input type="checkbox"/> その他 ()	1			<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 有害捕獲(頭ぐらい・分からない) (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 防護柵 (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他() (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明	山地・奥地の森林で <input type="checkbox"/> よく見る <input checked="" type="checkbox"/> たまに見る	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input checked="" type="checkbox"/> 子供を含む群れがいる 約10頭・20頭・30頭・40頭 50頭以上 <input type="checkbox"/> 1~数頭のオスザルだけがいる <input type="checkbox"/> 尾の長いサルを見たことがある (約20cm以上の尻尾)	
ツキノワグマ	林業被害は <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input checked="" type="checkbox"/> 大きい(生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻(生産量の30%以上)	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	スギ	<input checked="" type="checkbox"/> 成木剥皮 <input type="checkbox"/> その他 ()	8							
ノウサギ	林業被害は <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい(生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻(生産量の30%以上)	令和5年度より <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	スギ	<input type="checkbox"/> 幼木摂食 <input type="checkbox"/> 幼木剥皮 <input type="checkbox"/> その他 ()				<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 有害捕獲(頭ぐらい・分からない) (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 防護柵 (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他() (効果は) <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> よく見る <input type="checkbox"/> たまに見る <input type="checkbox"/> あまり見ない	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない		

「いる」「いない」のどちらかに必ず印を付けてください

被害作物ごとに、おおよその被害にあった期間(月)を記入してください。

